

(1) 図書館サービス計画の令和3年度事業報告について

資料 1

評価 A. 達成基準をクリアし、かつ十分な成果がある。 B. 達成基準をクリアしている、あるいは年度末までに達成する見込みである。 C. 達成基準をクリアしていない、あるいはクリアしているが課題がある。 D. 未実施、あるいは実施不可。

	検討する事項	取組内容	2021 (R3) 実施目標	2021 (R3) 達成基準	結果	備考	今後の対応
1・図書館の基本的なサービス	蔵書の構築	幅広い情報を、多様なメディアで収集します。蔵書構成や書架の全体的な見直しを検討します。視聴覚資料の積極的な収集に努めます。展示等により、資料紹介を行います。	継続実施	・サービス計画に沿い蔵書構成グループを見直す。 ・図書、雑誌、AV、DBの選定をする。 展示を行う(本館：一般、児童展示各6回以上、公津の杜分館：一般、児童展示各12回以上)	B	・蔵書構成グループ3班を課題解決サービスに沿った班編成に変更し、新たにYA(青少年)担当を設置した。	
	貸出・レファレンス等のサービス提供	貸出・閲覧サービスを継続して実施します。レファレンスサービスを継続して実施します。	継続実施	・貸出・閲覧サービス・レファレンスサービスを継続実施する。 ・参考資料、新聞等の閲覧サービスを継続実施する。	B	・貸出・閲覧サービス・レファレンスサービスを継続実施した。 ・参考資料、新聞等の閲覧サービスを継続実施した。 ※12月末現在 貸出累計847,628点(94,203/月)・レファレンス累計16,121点(1,791/月)	
	利用促進	広報活動等により利用促進を図ります。	継続実施	・広報なりに、図書館講座、おはなし会の広報及び読書週間に合わせ図書館利用促進特集を掲載する。	B	・広報なりた10/15号に「電子書籍サービス「いつでも・どこでも読書を」」を掲載した。 ・転入者に配布する資料に図書館PR記事を掲載した。 ・1/23(日)環境計画課主催の講座で、図書館本の展示を行い、利用促進を図った(見込み)。	
2・(1)乳幼児・保護者	おはなしかい	今後も実施を継続します。回数、曜日、時間等について、必要に応じて検討します。	先進図書館の調査研究を行う。	・おはなし会を継続実施する。 ・成田市子どもの読書活動推進計画(第2次)の策定準備と合わせて他館の事例調査を行い、年内に報告をまとめる。	C	・おはなし会を継続実施した。 ・他館の事例は、年度内に調査まで終了見込み。	2023(R5)年度に調査をまとめ、報告する。
	ブックリスト配布	今後も配布を継続します。配布場所については追加を検討します。	継続実施	・ブックリスト「あかちゃんも絵本が大好き」「絵本が大好き-2,3歳-」「絵本が大好き-4・5歳-」の配布を実施する。	B		
	ブックスタート事業	絵本の配布を検討します。	実施準備	・絵本の配布について、配布場所や配布方法等の具体案を作成する。 ・事業概要や概算見積とともにローリングに計上する。	D	・実施計画のローリングで要求したが、計上されなかった。	ローリング時に指摘された事項を再検討し、2022(R4)年度に再度要求する。
		赤ちゃん相談絵本読み聞かせ事業を継続し、運営主体や方法について、検討します。	運営主体や方法について検討する。	・赤ちゃん相談絵本読み聞かせを継続実施する。 ・他自治体での類似の事業について、現在の運営方法を調査する。	C	・赤ちゃん相談絵本読み聞かせは、2020(R2)年度より、新型コロナウイルス対策として実施を見送っている。 ・運営方法については、聞き取り調査までは、年度内に終了する見込み。	運営方法について、2023(R5)年度まで調査を継続し、まとめと報告をする。
	セカンドブック	実施に向けて検討します。	先進図書館の調査、関係機関との調整を行い、実施を検討する。	・成田市子どもの読書活動推進計画(第2次)の策定準備と合わせて他館の事例調査を行い、年内に報告をまとめる。	C	・年度内に調査まで終了見込み。	事例調査について、2023(R5)年度に調査をまとめ、報告する。
	館内託児サービス	実施に向けて検討します。	先進図書館の調査を行う。	・成田市子どもの読書活動推進計画(第2次)の策定準備と合わせて他館の事例調査を行い、年内に報告をまとめる。	C	・年度内に調査まで終了見込み。	事例調査について、2023(R5)年度に調査をまとめ、報告する。
	子育て支援コーナー等	「出産」「育児」「家計」等、子育てに関する資料の児童コーナー隣接を検討します。	先進図書館の調査を行う。	・成田市子どもの読書活動推進計画(第2次)の策定準備と合わせて他館の事例調査を行い、年内に報告をまとめる。	C	・年度内に調査まで終了見込み。	事例調査について、2023(R5)年度に調査をまとめ、報告する。

	検討する事項	取組内容	2021 (R3) 実施目標	2021 (R3) 達成基準	結果	備考	今後の対応
	の設置	国や市の制度、相談窓口、関係各課のリーフレットやイベントの案内等を集約した情報提供の実施を検討します。	先進図書館の事例調査研究を行う。庁内関係各課、外部の関連機関の情報について調査を行う。	・成田市子どもの読書活動推進計画(第2次)の策定準備と合わせて他館の事例調査を行い、年内に報告をまとめる。	C	・年度内に調査までを終了見込み。	事例調査について、2023 (R5) 年度に調査をまとめ、報告する。
	幼稚園、保育園等への団体貸出	申し出のあった市内幼稚園、保育園への団体貸出の実施を継続します。	継続実施	・市内幼稚園、保育園への団体貸出を継続実施する。	C	・貸出を継続実施した。 ・運用規定に課題がある。	課題について、2024 (R6) までに、改善案をまとめる。
		今後は、申込書の送付等、図書館からの働きかけを検討し、園等での読書活動を支援します。	市内の園等での読書活動の実態調査を行う。 (2年間計画/1年目)	・成田市子どもの読書活動推進計画(第2次)の策定準備と合わせて、11月末までにアンケートを作成し、各施設に回答を依頼する。 ・1月末までに回答を集める。	D	・未実施。	2023 (R5) 年度にアンケート送付・実施をずらす。
2・(2)小学生・中学生	ブックリスト配布	今後も全校への実施を継続します。	継続実施	・ブックリスト「ぼんざいいちねんせい2021」「いいほんみつけた1,2ねんせい2021」「いいほんみつけた3,4年生2021」「いいほんみつけた5,6年生2021」「いいほんみつけた中学生2021」の配布を実施する。	B		
	中学生向け書架整備	今後も実施を継続します。	継続実施	・中学生向け書架の入替を実施する。	B		
	資料展示	今後も実施を継続します。 展示テーマの頻度については検討します。	継続実施	・2か月に一度の常設展示と、季節や行事に応じた展示を実施する。	B		
	おはなしかい	今後も実施を継続します。 子どもたちの参加意欲促進に努めます。	継続実施	・土曜日のおはなしかい、季節のおはなしかい等を実施する。	B		
	イベント、講座	今後も実施を継続します。	継続実施	・科学あそび講座等の児童向け講座を実施する。	B		
	学校訪問おはなし会	今後もボランティアと協力し実施を継続します。	継続実施 職員及びボランティアの研修(読み聞かせ・素話)を実施する。	※2020 (R2) 年度より、新型コロナウイルスによる中止が継続している。 ・学校の依頼を受けて訪問おはなし会を実施する。 ・事業を行う職員及びボランティアのスキルアップのため、研修を実施する。	B		
		回数や実施方法について検討します。	ボランティアが主体となるような実施方法を検討する。	・成田市子どもの読書活動推進計画(第2次)の策定準備と合わせて他館の事例調査を行い、年内に報告をまとめる。	C	・年度内に調査までを終了見込み。	事例調査について、2023 (R5) 年度に調査をまとめ、報告する。
	読み聞かせボランティアの養成	今後も実施を継続します。	継続実施	・読み聞かせを行っている市民を対象とした「絵本の読み聞かせ講座」を実施し、ボランティアの養成を行う。	B		
	町探検の受入れ	今後も実施を継続します。	町探検(小学2年生)に合わせた図書館紹介パンフレットの作成等、内容の充実について検討する。 非来館でも図書館についてPR	・町探検の受入れを継続実施する。 ・成田市子どもの読書活動推進計画(第2次)の策定準備と合わせて他館の事例調査を行い、年内に報告をまとめる。	C	・町探検の受入れを継続実施した。 ・事例調査については、未実施。	事例調査について、2023 (R5) 年度に調査をまとめ、報告する。
職場体験の受入れ	今後も実施を継続します。	職場体験(小学校6年生・中学2年生)に合わせた図書館・司書業務紹介パンフレットの作成等、内容の充実について検討する。	・職場体験の受入れを継続実施する。 ・成田市子どもの読書活動推進計画(第2次)の策定準備と合わせて他館の事例調査を行い、年内に報告をまとめる。	D	・コロナ禍のため、職場体験の希望なし。 ・事例調査については、未実施。	事例調査について、2023 (R5) 年度に調査を行い、以降1年ずつ計画をずらす。	
読書に困難を感じている子どもの支援	ニーズやサービス内容について、調査研究を行います。 サービス方針及び資料収集方針を立案し、サービスを実施します。	マルチメディアデジターや布絵本の所蔵、提供等について、事例調査及び研究を行う。	・成田市子どもの読書活動推進計画(第2次)の策定準備と合わせて他館の事例調査を行い、年内に報告をまとめる。	D	・未実施。	2022 (R4) 年度に調査、計画を行う。以降1年ずつ計画をずらす。	

	検討する事項	取組内容	2021 (R3) 実施目標	2021 (R3) 達成基準	結果	備考	今後の対応
	子どもの居場所としての取組	関係各課と連携し、学校と家庭以外で子どもたちが安心して居られる場所として、図書館が利用できるように環境を整えます。	事例調査及び研究を行う。	・成田市子どもの読書活動推進計画(第2次)の策定準備と合わせて他館の事例調査を行い、年内に報告をまとめる。 ・次年度以降の視察場所の選定を行う。	D	・未実施	事例調査について、2022 (R4) 年度に調査を行い、以降1年ずつ計画をずらす。
	学校図書館の支援	今後も団体貸出を継続します。	継続実施	・市内各小中学校及び義務教育学校への団体貸出を実施する。	C	・団体貸出を継続実施した。 ・運用規定に課題がある。	2022 (R4) 年度に改善案をまとめる。
		団体貸出等図書館資料の配送体制の整備について、調査研究を行い、実施を検討します。	学校図書館との団体貸出等図書館資料の配送体制整備について先行事例を研究する。	・成田市子どもの読書活動推進計画(第2次)の策定準備と合わせて他館の事例調査を行い、年内に報告をまとめる。	C	・年度内に調査まで終了見込み。	事例調査について、2023 (R5) 年度に調査をまとめ、報告する。
	学校図書館司書等合同研修会の開催	今後も実施を継続します。学校図書館司書の要望等を踏まえ、内容を検討します。	継続実施	・学校図書館司書、司書教諭等を対象とした研修会を実施する。	B		
2・(3) 青少年	ヤングアダルトコーナーの新設	ヤングアダルト向けの資料と独立したスペースの確保、コーナーの設置を行います。	ヤングアダルトサービスについて調査研究を行う。	・ヤングアダルトサービスについての近年の動向などについて、調査研究したものを1月までに報告書としてまとめる。	B		
	ヤングアダルト向け資料の収集	ヤングアダルトサービスについて調査研究を行い、資料の選定収集を行います。	ヤングアダルトサービスについて先進図書館の調査研究を行う。	・先進図書館の事例調査を1月までに報告書としてまとめる。	B		
	ブックリスト配布	ヤングアダルト向けのブックリストを作成し、市内学校等への配布、ホームページでの公開を行います。	先進図書館の事例の調査研究を行う。	・ヤングアダルトサービスについての近年の動向や、先進図書館の事例について調査研究したものを1月までに報告書としてまとめる。	B	・年度内に終了見込み。	
	イベント、講座	イベント、講座の実施を検討します。	ヤングアダルト向けのイベントについて事例の調査研究を行う。	・7月28日に「法律ってなんのため??」を開催する。 ・他館の事例調査を1月までに報告書としてまとめる。	C	・アンケートで「満足」「やや満足」あわせて82%と高評価だったが、ターゲット層の中高生の参加人数が目標に達しなかった。 ・他館の事例調査については、報告書は、年度内に終了見込み。	原因の分析、改善
	メディアリテラシー向上の支援	事例の調査研究を行います。	事例の調査研究を行う。(2年間計画/1年目)	・他館の事例調査を1月までに報告書としてまとめる。	B	・年度内に終了見込み。	
	2・(5) 高齢者	資料の収集、提供	大活字本、朗読CD等を継続して収集します。	継続実施 大活字本及び朗読CDの収集方針を立てる。	・大活字本、朗読CD等を継続して収集する。 ・県内の所蔵状況・収集方針を調査し、収集方針を定める。	C	・大活字本、朗読CD等を継続して収集した。 ・所蔵状況や収集方針については、調査継続中。
電子アプリ等を利用したオーディオブックの導入を検討します。			オーディオブックコンテンツの事例の調査研究を行う。	・オーディオブックを導入している図書館の調査を行い、報告書を1月末までにまとめる。	B		
高齢者施設等との連携		高齢者施設等へのニーズ調査を検討します。	市内のニーズ調査を行う。	・市内施設へのニーズを把握するためのアンケート調査を11月中に終了させ、報告書を1月までに作成する。	D	・未実施	2023 (R5) 年度に、「高齢者施設との連携調査」の結果をもとに、ニーズ調査のためのアンケートを実施する。
		連携方法について調査研究を行います。	市内のニーズ調査を行う。	・高齢者施設との連携を行っている図書館の調査を9月中までに終了させる。	D	・未実施	2022 (R4)、2023 (R5) 年度にニーズ調査のアンケートを作成、実施する。
来館困難者へのサービス提供		事例の調査研究を行います。	他市町村におけるサービス事例調査研究を行う。	・他館の状況を5館調査し、まとめる	B		

	検討する事項	取組内容	2021 (R3) 実施目標	2021 (R3) 達成基準	結果	備考	今後の対応
	生涯大学院、明治大学・成田社会人大学等との連携	ニーズ調査を実施します。	事例調査及び研究を行う。協力を得られる機関を調査する。	・今年度は、生涯大学院の状況を調べまとめる。	C	・調査は実施したが、不十分。	2022 (R4) 年度、2023 (R5) 年度にニーズ調査を行う。
2・(6) 図書館利用に障がいのある人	録音図書の製作	今後も録音図書の製作を継続します。	継続実施 職員の負担軽減、作成マネジメントの見直しをはかる。	・12月までに録音図書の製作マネジメントの見直しを行う。	B		
		所蔵するカセット資料のDAISY図書への変換作業を継続します。	継続実施 次年度以降の計画を作成する。	・12月までにDAISY変換計画書を作成する。	B		効率化について検討する。
	マルチメディアDAISYの収集、提供	収集方針、収集・提供方法を検討します。	需要（貸出対象者）調査、機器などの調査、及び研究を行う。	・小学生・中学生担当と情報を共有し、1月までに調査報告書を作成する。	D	・未実施	2022 (R4) 年度に調査及び研究をし、2023 (R4) 年度に報告書をまとめて、予算要求する。
	音訳協力者の養成	今後も音訳協力者養成講座を継続して実施します。	継続実施 今後の音訳の方針を見直し、新規協力者の養成方法について検討する。	・今年度は全8回の講座を実施する。 ・1月までに新規協力者の養成計画を作成する。	C	・全8回の講座を実施した。 ・新規養成計画については、未完成。	2022 (R4) 年度に計画を作成する。以降一年ずつ計画をずらす。
	資料の収集、提供	点字図書、さわる絵本、大活字本、オーディオブック、LLブック、布絵本等を収集、提供します。	点字図書、大活字本、LLブックの収集方針を立案する。オーディオブックコンテンツの購入、排架場所を検討する。 (2年間計画/1年目)	・点字図書、LLブックの収集方針を1月までに立案する。オーディオブックについては乳幼児・小学生・中学生・高齢者サービス担当と協議する。	D	・調査は行ったが、収集方針は未立案。	2022 (R4) 年度に計画を作成する。以降一年ずつ計画をずらす。
	配送貸出サービス	今後も継続して実施します。	継続実施 サービス対象者の見直しをする。心身障害者用郵便について調査を行い、導入を検討する。	・配送貸出サービスを継続実施する。 ・心身障害者用郵便について調査報告書を1月までに作成する。	C	・配送貸出を継続実施した。 ・心身障害者用郵便について、他館調査まで行った。	2022 (R4) に見直し、計画をまとめる。
サービスの広報	今後も対象者への利用案内の送付等を継続します。	継続実施	・2月中に、障がい者福祉課に対象者のリストを依頼し、3月中に対象者へ利用案内を送付する。	B	・今年度中に達成見込み。		
2・(7) 多文化	多言語資料の収集	今後も収集を継続します。	丸善ベストセラー等、現在の購入先以外の収集手段について調査し、購入する。	・資料の収集を継続する。 ・他館の事例等について調査を行い、12月までに取りまとめ、1月中に報告する。	C	・資料の収集を継続した。 ・他館の事例調査のみ実施。分析と購入先の見直しは未検討。	他館の事例調査を2022 (R4) 年度に継続して調査し、新しい購入手段を決定する。2023 (R5) に購入を開始する。
		ニーズに沿った選定の方法を検討します。	多文化資料のニーズを調査し、選定方法の見直しを行う。	・他館の事例や資料の利用状況について調査を行い、12月までに取りまとめ、1月中に報告する。	D	・利用状況の調査は未実施。	2022 (R4) 年度に継続して調査、報告を行い、2023 (R5) に実施する。
		電子書籍での多言語資料の提供について、検討します。	電子書籍導入	・多言語資料の電子書籍について導入する。	B		
	多文化理解に役立つ資料の収集、提供	今後も収集を継続します。	継続実施	・資料の収集を継続する。 ・住民構成を参考に、所蔵していない言語の資料も収集、広報を行う。	C	・資料の収集を継続した。 ・今後は利用状況等を鑑み購入を継続。	継続調査
	日本語学習、検定資料の収集、提供	今後も収集を継続します。	継続実施 日本語学習、検定資料を収集する。	・資料の収集を継続して行う。	C	・資料の収集を継続して実施した。 ・新規資料の収集については、課題がある。	課題解決に向けて、検討、調査、実施する。
選定方法を見直し、購入手法を検討します。		日本語学習、検定資料の選定・受入方法の見直しを行う。	・資料の利用状況について調査を行い、12月までに取りまとめ、1月中に報告する。	D	・未実施。	来年度再調査	



	検討する事項	取組内容	2021 (R3) 実施目標	2021 (R3) 達成基準	結果	備考	今後の対応
	利用しやすい環境の整備	英語以外の言語の利用案内を作成し、配布します。	案内が必要な言語について調査する。 他機関での事例を調査する。	・他館の事例等について調査を行い、12月までに取りまとめ、1月中に報告する。	C	・調査は実施したが、不十分。	2022 (R4) 年度に調査、報告書をまとめ、2023年度以降計画を1年ずつずらす。
		やさしい日本語※ の利用案内の作成を検討します。	やさしい日本語の利用案内について、先行事例や必要性を研究する。 (2年間計画/1年目)	・他館の事例等について調査を行い、12月までに取りまとめ、1月中に報告する。	C	・調査は実施したが、不十分。	2022 (R4) 年度に調査、報告書をまとめ、2023年度以降計画を2年目に報告する。
3・(1) 健康・医療情報	蔵書の構築	医療の進歩に留意し、信頼性の高い資料を収集します。	収集・選書方法について、事例調査及び研究を行う。	・資料収集について他館の事例等の調査を行い(12月まで)、報告書にまとめる(2月まで)。	B		
	利用者がアクセスしやすい書架の整備	闘病記の排架方法や検索システム等、整備方針を定めて計画的に実施します。	サービスガイドラインと連動させて、闘病記の整備方針について、事例調査や視察を通して研究する。 (3年間計画/1年目)	・闘病記文庫を設置している先進事例について取材・調査を行い(12月まで)、報告書にまとめる(1月まで)。	D	・取材・事例調査方法を精査中のため未実施。	闘病記を整備し探しやすくするための調査、分析、改善案(複数)をまとめた報告書を2022 (R4)、2023 (R5) 年度でまとめる(計画通り)。
	講座、セミナーの開催	関係機関と連携し、健康・医療情報を扱う講座等を計画し、実施します。	継続実施	・今年度の医療講座として「社会的ひきこもり」の講座を実施し、満足度8割以上を目指す。また、実際にひきこもっている人及びその関係者の参加を促すため、来館及びオンラインでの開催を実施する。	B	・1月講座実施。 ・達成見込み	
3・(2) ビジネス支援	蔵書の構築	ビジネスに役立つ多様な分野の資料を入門書から専門書まで広く収集します。	(2年間計画/1年目) 蔵書研究、調査を行う。	・ビジネス支援サービス研修へ参加する。 ・ビジネス書の基本書選定についてのグループ研修を8月に実施する。	B	・年度中の達成基準の変更あり。 (研修参加中止) ・グループ研修は実施済み。	ビジネス支援サービス研修については次年度以降継続的に参加する。
	データベースの整備	起業や農業活動等に有用なデータベースの導入を検討します。	他館の事例調査及び研究を行う。	・他館の事例調査を1月までに報告書としてまとめる。	B		
	利用者がアクセスしやすい書架の整備	それぞれの専門的分野の資料を集中して排架する方法を計画し、実施します。	(3年間計画/1年目) コーナーの設置や排架方法など、事例調査及び研究を行う。	・他館の事例調査を1月までに報告書としてまとめる。	B		
	講座、セミナーの開催	働く世代を支援する講座等を計画し、実施します。	継続実施	・12月4日に「日本経済新聞の読み方(仮)」を開催する。 ・2月までに次回開催の講座を決める。	B	・アンケート結果の満足度85%と高い評価を得た。	
	相談会の実施(会場・資料提供)	事例調査及び研究を行います。	(4年間計画/1年目) 先進図書館の事例調査をしつつ、講師とのコネクションや関係を構築する。	・他館の事例調査を1月までに報告書としてまとめる。	B		
中小企業診断士等と協働し、起業相談会の開催を検討します。		(4年間計画/1年目) 先進図書館の事例調査をしつつ、講師とのコネクションや関係を構築する。	・他館の事例調査を1月までに報告書としてまとめる。	B			
3・(3) 法情	蔵書の構築	法情報に関する図書・雑誌資料のほか関係機関誌やパンフレット等、幅広い資料の収集に努めます。	資料の収集対象や選書方法についてリーフレットなどの配置も含めて検討し、資料の見直しを行い、報告書をまとめる。 (3年間計画/1年目)	・法情報に関する資料の選書方法についての8月にグループ研修をおこなう。	B		

	検討する事項	取組内容	2021 (R3) 実施目標	2021 (R3) 達成基準	結果	備考	今後の対応
報	データベースの整備	法情報調査に有用なデータベースを調査し、導入を検討します。	事例調査を行い、有用なデータベースを調査する。バージョンアップまたは新規導入するデータベースを検討し、報告書をまとめる。	・他館の事例調査を1月までに報告書としてまとめる。	B	・情報に関するデータベースについては、現在導入しているデータベース以外に新規導入したいものがあがらなかったため、調査継続する。	2022 (R4) 年度に継続調査し、実施計画への要求(予算要求)は、2023 (R5) 年度からとずらす。
	講座、セミナーの開催	ニーズ調査を実施します。	講座実施時に並行してニーズ調査を行う。	・7月開催の講座「法律ってなんのため??」で、ニーズ調査のアンケートを取り、1月までに結果をまとめる。	B		
		データベースの使い方講座や、関連専門機関のセミナー等の図書館での開催を検討します。	継続実施	・他館の事例調査を1月までに報告書としてまとめる。	B		
	関係機関へ、図書館の資料案内等の配布	市民向け相談窓口を設置している機関へニーズ調査を実施します。	講座実施時に並行してニーズ調査を行う。	・相談窓口機関の場所などを調査し、1月までに報告書をまとめる。	B	・2021 (R3) 年度の報告書は中間報告書とする。	2022 (R4) 年度も更なる継続調査が必要となったため、2023 (R5) 年度に今後の実施方向を含めた報告書をまとめる。
4・(1) 地域資料	地域資料の収集、提供	今後、成田市を中心に、関連性の深い周辺地域を含めた歴史、地誌、民俗、芸術、文化及び産業等を記録した資料の収集を継続します。	資料の収集を継続する。関係機関及び全庁的に資料を収集する手段の構築を検討する。	・成田市を中心とした地域資料の収集を継続する。 ・年度始めに市役所全体に、庁内刊行資料の納付を依頼。関係機関の記録資料収集についても、継続して検討する。	C	・継続収集を行った。 ・市役所への納付依頼は実施したが収集について具体策等の検討はしていない。	行政資料の網羅的な収集を行う仕組みを検討する。
		今後、空港関係資料の収集を継続します。	継続実施	・空港関係資料の収集を継続する。 ・空港関連の資料について整理し、製本及び資料データを登録する。	C	・空港関係資料の収集を継続した。 ・製本作業は完了しているがデータ入力は未実施。	データを入力するための委託装備を実施する。
		行政資料の収集を継続します。	継続実施	・行政資料の収集を継続する。	B	・行政資料の収集を継続した。	
	地域資料のデジタル化	成田市関係新聞記事をデータベース化し、公開します。	成田市関係新聞記事データベース公開作業の遡及入力を継続する。	・平成22年度以降の未公開新聞記事データについて作業を行い、順次公開する。 ・発行済み最新号「市史研究」の「成田市関係新聞記事目録」について、データを公開する。	A	・年間目標件数500件のところ、3,068件の入力を完了できた。 ・「市史研究45号」のデータの公開については、年度内に完了の見込み。	未公開新聞記事データ入力については2022 (R4) 年度に完了見込み。
		地域資料のデジタル化を進めます。	『成田の地名と歴史』デジタル化を図書館システム更新計画に盛り込む。	・『成田の地名と歴史』デジタル化の見積もりを取り予算要求し、図書館システム更新に盛り込む。	D	・2021 (R3) 年度実施計画に計上し、予算要求をしたが計上されなかった。	2023 (R5) 年度に予定している図書館システム更新に合わせ、2022 (R4) 年度に予算要求する。
		デジタル化した資料は、ホームページ上で公開を継続し、内容の充実を図ります。	デジタル化資料公開継続	・地域資料のデジタル化について作業を進め順次公開する。	D	・未実施	作業難航の要因である問題点の整理が必要。
	イベント、講座の開催	地域への理解、関心を深めることを目的とし、講座の実施を継続します。	継続実施	・市史講座を実施する。	B	・成田祇園祭をより楽しむための、連続2回講座を実施した。 ・講座に関連した、出土品等の展示を行い、アンケート調査でも高評価を得た。	
	展示の実施	収集した資料の活用、普及、提供のため、展示の実施を継続します。	継続実施	・2階展示コーナーで郷土関連資料展示を継続実施する。	C	・年度内までに実施予定。	年度当初5月までに提示計画を館長に提出することで計画的に実施できるようにする。

	検討する事項	取組内容	2021 (R3) 実施目標	2021 (R3) 達成基準	結果	備考	今後の対応
	市史の編さん、頒布	今後も成田市史研究の発行を継続します。 今後の方向性を検討します。	市史研究の発行を継続する。	・『市史研究46号』発行する。	B	・年度内に達成見込み。	
行5 政・ 支 援 (1)	市職員への利用案内	新規採用職員研修において、行政課題解決のための 図書館活用法を案内します。	新規採用職員研修の打合せの 企画を立案し、新規職員研修 での図書館活用法案内につ いて、関係各課と協議する。	・令和4年度の成田市役所新規採用職員研修にお ける、図書館活用法について説明会等の企画を立案 し、計画書を作成する。	B	・年度内に達成見込み。 ・4月実施予定。	
5 ・ (3) 議会図書館 との連携	議員へのレファレンス サービスの実施	レファレンスサービスを周知し、議員のレファレン スサービスの活用を促進します。	運用方法について議会事務局 と協議し、9月からレファレ ンスサービスを実施する。	・議会事務局と協議を開始し、受付フォーマットの 作成及び ・議員向けのPR方法を検討し、9月頃からレファレ ンスサービスを実施する。	B		利用促進のためのPRを検 討する。
		議会図書室と連携し、議員への図書館資料の貸出に ついて検討します。	行政管理課とネットワーク構 築について協議し、システム 更新計画に計上する。	・図書館のシステム更新計画に計上する。	B		
	資料の整理・保存等の 支援	議会図書室が所蔵する資料の整理を支援します。	(3年間計画/1年目) 担当課と協議して、スケ ジュールを策定する。	・議会図書室の現状を把握し、担当課と協議を進め 議会図書室整備に係る計画表を作成する。	D	・議会事務局と協議を開始したが、 担当課の意向が定まらず計画書作成 に至っていない。	継続実施
		議会図書室と連携し、成田市議会の過去の議事録等 の保存等を支援します。	(3年間計画/1年目) デジタル化について担当課と 協議して、スケジュールを策 定する。	・過去の議事録のデジタル化について、他市の事例 等を調査し、今後のスケジュールについて担当課と 協議を開始する。	B		予算化についてなど、担 当課との協議継続。
連携資 料室(4) の行	連携方法についての研 究	事例の調査研究を行います。	事例の調査研究を行う。 総務課と今後の方針や課題に ついて協議する。	・令和3年4月に行政資料室より移管した行政文書に ついて、整理・保存・廃棄の仕分けを行い、結果を 行政資料室と共有する。 ・総務課と方向性を協議する。	B	・担当課との協議を開始。行政資料 の保管等について連携し、今年度は 廃棄資料リストの共有を行うこと で、実施済。方向性について未検 討。	継続実施
6 ・電 算 シ ス テ ム	図書館電算システム、 ホームページの維持管 理・運用	(図書館システム) システムの機能向上について検討します。 ホームページの利便性向上を図り、マルチデバイス 化を実施します。	事例調査、視察等を実施し、 更新計画を策定する。	・年内に図書館システム更新計画を策定する。	B	・年度内に終了見込み。	
		(ホームページ) システムの機能向上について検討します。 ホームページの利便性向上を図り、マルチデバイス 化を実施します。	トップページを改修する。 電子書籍をホームページに記 載する。	・5月に改修したトップページの公開をおこなう。 ・8月に電子書籍をホームページに掲載する。	B	・改修後のトップページの公開は6 月中旬までずれ込んだが、電子書籍 サービスに関するホームページの公 開は遅滞なく実施した。	
	新たな技術の導入	電子書籍サービスを導入します。	電子書籍の資料選定方法を検 討する。 パスワードの発行方法を検 討・準備	・8月にサービスを開始する。	B	・8月1日サービス開始。	
		本館、公津の杜分館への公衆無線LANを設置しま す。	公衆無線LANの導入を図書館 システム更新計画に盛り込 む。	・年内に図書館システム更新計画を策定する。	B	・年度内に終了見込み。	
	業務の効率化	機器の導入等により、業務の効率化を図ります。	図書館システムの更新計画を 検討する。	・年内に図書館システム更新計画を策定する。	B	・年度内に終了見込み。	
		本館への自動返却仕分け機の導入を検討します。	図書館システム更新計画で本 館の自動返却仕分け機の導入 を検討する。	・年内に図書館システム更新計画を策定する。	B	・年度内に終了見込み。	
7 ・職 員 の 育 成	継続的な司書の確保と 計画的な配置	継続的な司書の確保に努めます。 司書の研修マニュアルを作成 します。専門分野の習熟に必要 な配置期間を確保します。	継続的な司書の確保に努めま す。司書の研修マニュアルを 作成します。専門分野の習熟 に必要な配置期間を確保しま す。	・司書の人員確保を計画的に人事課に要求する。 ・司書研修マニュアルを作成する。 ・専門分野の習熟に必要な配置期間を確保する。	B		

	検討する事項	取組内容	2021 (R3) 実施目標	2021 (R3) 達成基準	結果	備考	今後の対応
成	職員の資質・能力の向上	長期的な研修計画を立てて、計画的な職員育成を図る。	計画的な職員育成を図る。	・担当となった分野の研修に参加する。	B		
8・施設・設備等	施設の管理・運営	施設の計画的な修繕等の維持管理と、バリアフリーへの対応等、利用しやすい施設への改善に努めます。施設の管理・運営に関わるマニュアルを作成します。	予算計上している修繕、工事を計画的に実施する。発生した施設の修繕を予算内で計画的に執行する。	・予算計上している修繕、工事を計画的に実施する。発生した施設の修繕を予算内で計画的に執行する。	B		
	危機管理能力の向上	図書館の危機管理マニュアルを作成し、体制を整備します。	危機管理マニュアルを作成する。	・台風災害時の臨時休館対応マニュアルを策定する。	B		